

日本新興株グロースファンド

追加型投信／国内／株式



月次レポート(販売用資料)

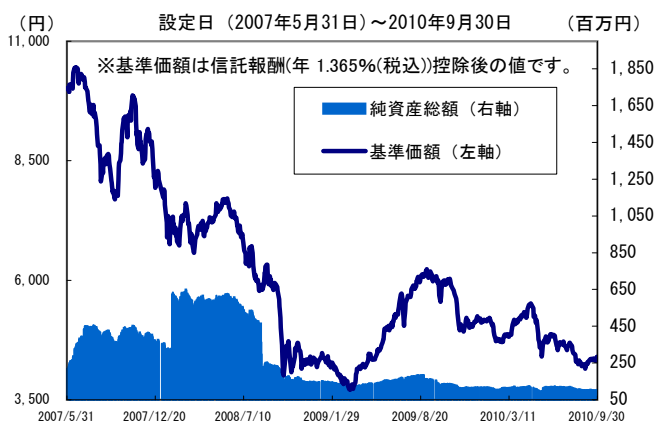
作成基準日: 2010年9月30日

※フィンデックス100は、3月25日付けで「日本新興株グロースファンド」になりました。

【ファンドの特色】

- 当ファンドは、日本新興株グロースマザーファンド受益証券を通じて、わが国の新興企業の発行する株式を中心に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。
 - マザーファンドの主要投資対象は東京証券取引所市場第一部を除く市場に上場(新規上場予定を含みます。)している新興企業とします。
- マザーファンドの運用にあたっては、成長性に優れた企業を厳選し、分散投資を行います。
 - 銘柄選択効果を重視したアクティブ運用を行います。
 - 株式の組入比率は原則として高位を保ちます。
 - ポートフォリオの銘柄数は40～60銘柄程度とします。

基準価額の推移



※基準価額(分配金込み)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の騰落率です。

基準価額・純資産総額・収益分配実績

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 4,368円 |
| 純資産総額 | 1.02億円 |

| | 第5期 (2009年8月20日) | 第6期 (2010年2月22日) | 第7期 (2010年8月20日) |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 分配金(1万口当たり) | 0円 | 0円 | 0円 |

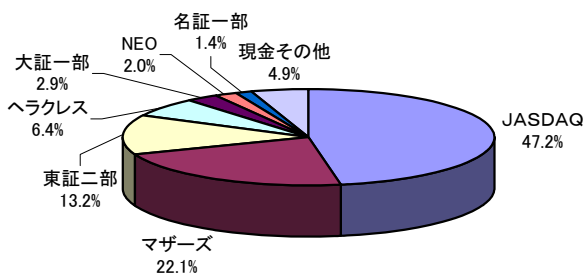
ファンドと各指数の騰落率

| | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|------------|------|-------|--------|--------|--------|--------|
| ファンド | 4.1% | -5.1% | -14.7% | -27.0% | -48.3% | -56.3% |
| 東証一部指数 | 0.5% | -3.4% | -6.7% | -7.1% | -43.1% | -48.7% |
| 日経ジャスダック平均 | 0.9% | -4.1% | -7.2% | -4.0% | -36.4% | -42.5% |
| マザーズ指数 | 1.9% | -4.4% | -17.7% | -17.9% | -49.4% | -57.6% |
| ヘラクレス指数 | 0.9% | -2.7% | -11.3% | -4.2% | -52.1% | -61.9% |

※上記の各指数は当ファンドのベンチマークではありません。各指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。設定来の騰落率は全て設定日当日を基準として計算しています。

日本新興株グロースマザーファンドのポートフォリオの状況

市場別比率

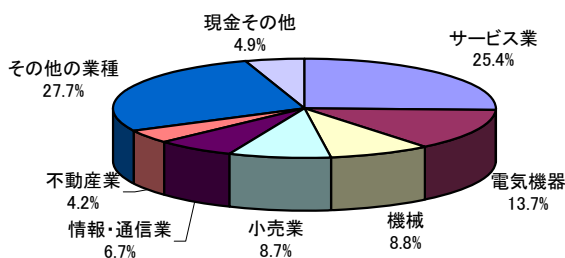


株式組入比率

| | 比率 |
|-------|-------|
| 株式 | 95.1% |
| 現金その他 | 4.9% |

※月末時点でのベビーファンドのマザーファンド組入比率は100.0%、ベビーファンドの株式実質組入比率は95.1%です。

業種別比率



組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 市場 | 業種 | 比率 |
|----|------------------|--------|--------|------|
| 1 | 楽天 | JASDAQ | サービス業 | 5.4% |
| 2 | サイバーエージェント | マザーズ | サービス業 | 5.1% |
| 3 | 日本マクドナルドホールディングス | JASDAQ | 小売業 | 2.9% |
| 4 | メッセージ | JASDAQ | サービス業 | 2.7% |
| 5 | フルヤ金属 | JASDAQ | その他製品 | 2.6% |
| 6 | J Pホールディングス | JASDAQ | サービス業 | 2.5% |
| 7 | 大阪証券取引所 | ヘラクレス | その他金融業 | 2.4% |
| 8 | 第一精工 | JASDAQ | 電気機器 | 2.4% |
| 9 | 富士製薬工業 | JASDAQ | 医薬品 | 2.3% |
| 10 | スタートトゥデイ | マザーズ | 小売業 | 2.3% |

※上記の各組入比率は純資産総額に対する評価額の割合を記載しています。(小数点第2位以下を四捨五入しています。)

※グラフ中の比率は小数点第2位以下を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならないことがあります。

当資料はITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえお客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

日本新興株グロースファンド

追加型投信／国内／株式



月次レポート(販売用資料)

作成基準日: 2010年9月30日

ファンド・マネージャーのコメント

【市況】

9月の国内株式市場は、米連邦準備制度理事会(FRB)による追加金融緩和観測を背景とした米国株式市場の急反発、予想外のタイミングによる日銀の為替市場介入を受けて、輸出関連セクターを中心に回復歩調に転じました。中小型株式市場も、資本効率、成長性が高く、バリュエーションが割安な優良銘柄を中心に底堅い推移となりました。9月の月間騰落率は東証二部指数で前月末比+0.5%、日経ジャスダック平均指数で+0.9%、マザーズ指数は+1.9%、ヘラクレス指数は+0.9%となりました。

【基準価額の動きと運用概況】

当ファンドの基準価額は、前月末比で+4.1%となりました。個別保有銘柄では、発光ダイオード(LED)市場の拡大を受けて、イリジウム製ルツボに対する需要拡大が期待されるフルヤ金属、当月に開催された「東京ゲームショウ」(世界最大規模のゲーム見本市)でも注目されたSNS(交流サイト)ゲームによる収益拡大が見込まれるサイバーエージェント、世界的な家電省エネ化の流れにより電気絶縁用セパレーター(紙)に対する需要が高まっているニッポン高度紙工業などがファンドのパフォーマンスを牽引しました。

【今後の見通しと投資戦略】

世界景気動向の不透明感を受け、足元の売上・受注が好調な企業も通期業績見通しを据え置くなど、依然として先行きに対し慎重なムードが広がっています。日銀の市場介入懸念から、足許の為替市場は小康状態となっており、相場安定に寄与していますが、再度、海外の投機筋等がドル売り攻勢を仕掛けてくる可能性も否定できません。しかしながら、追加金融緩和や補正予算による国内景気下支え効果が期待される一方、アジアを中心に新興国経済の好調が持続すると見られることから、中小型株式市場は内需・輸出関連セクターともに底堅く展開すると見ております。

投資戦略には大きな変更はありません。新興株式市場の回復局面を主導すると見られる主力eコマース関連銘柄に加え、電子材料や機械等の輸出関連セクターのウエイト上げのタイミングを図る方針です。

当ファンドの3つの投資テーマである、1) 独自のビジネスモデルや質の高い技術力を有する企業、2) ニッチな分野で世界的に高いシェアを有する企業、3) 新興国に成長の活路を求め、積極的且つ戦略的に進出している企業に着目し、徹底したファンダメンタルズ分析に基づく個別銘柄選択により、今後もパフォーマンスの向上を目指します。

ファンドマネージャーの注目銘柄

| 株式コード | 銘柄名 | 市場 | 業種 | コメント |
|-------|---------------------|--------|-------|---|
| 3036 | アルコニックス | 東証二部 | 卸売業 | 非鉄金属商社。自動車、家電、IT関連業界の生産回復に伴い、同社が取扱うレアメタル、レアアースへの需要も拡大しています。足元の業績堅調に加え、M&Aや金属加工・販売事業への多角化戦略等から、今後も業容の拡大が期待されます。 |
| 3891 | ニッポン高度紙工業 | JASDAQ | パルプ・紙 | 電気絶縁用セパレーター専業大手。国内シェア9割超を誇るコンデンサー向けは、エコ家電普及の恩恵を受けて業績への寄与が顕著となっており、今後も高成長を維持するものと見られます。 |
| 4554 | 富士製薬工業 | JASDAQ | 医薬品 | 注射剤系のジェネリック医薬品専業メーカーです。独自の販路を生かし、診断薬、ホルモン剤分野に強く、特に産婦人科領域では他社を圧倒しています。大手病院向けを中心に販売が拡大中であり、薬価引下げの影響も軽微と予想されます。 |
| 4952 | エス・ディー・エス バイオテック | 東証二部 | 化学 | 果樹・野菜用の殺菌剤「ダコニール」を主力とした農薬原体メーカーです。国内市場に加え、アジア・オセアニア市場からの収益寄与から、今後も安定成長が持続するものと見込まれます。 |
| 7458 | 第一興商 | JASDAQ | 卸売業 | 業務用通信カラオケ「DAM」で業界首位。同社のカラオケ機器出荷は、4月に発売したナイト市場(カラオケパブなど)向け新機種に続き、10月に発売する新フラッグシップモデル投入を契機に、来年度に向けて本格的な回復が予想されます。 |

※特定銘柄の売買の勧誘あるいは推奨を意図するものではありません。また将来の組入れを保証するものではありません。

当資料はITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドの取得のお申込みには、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえお客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

(2/4ページ)

日本新興株グロースファンド

追加型投信／国内／株式

当ファンドの主なリスク

当ファンドは、主に国内株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「リスクについて」をご覧ください。

1. 株価変動リスク

一般に、株式の価格は経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、マザーファンドが組入れている株式の価格が変動し、損失を被るリスクがあります。

2. 流動性リスク

市場規模が小さく、証券取引量が少ない場合などには、機動的に売買できない可能性があります。新興企業の株式は、一般的に東京証券取引所市場第一部上場企業の株式等に比べて流動性リスクが高くなります。

3. 信用リスク

株式や短期金融商品の発行体が経営不安、倒産等に陥った場合、投資資金が回収できなくなるリスクがあります。こうした状況が生じた場合、またそれが予想される場合には、その株式等の価格は下落し、損失を被るリスクがあります。新興企業の株式は、一般に東京証券取引所市場第一部上場企業の株式等に比べて流動性が高いと考えられます。

お申込みメモ

| | |
|----------|--|
| 信託期間 | 無期限(平成19年5月31日設定)。ただし、元本金額が1億円を下回った場合などはファンドを終了(繰上償還)させる場合があります。 |
| 収益分配 | 原則として、年2回の決算日(原則として、毎年2月20日および8月20日。休日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、基準価額の水準や市況動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 |
| 取得申込日 | 原則として、毎営業日にお申込みいただけます。 |
| 取得価額 | 取得申込日の基準価額とします。 |
| 取得申込単位 | 販売会社やお申込方法によって異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金申込日 | 原則として、毎営業日にお申込みいただけます。 |
| 換金価額 | 換金申込日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。 |
| 換金単位 | 原則として、1口単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金代金の支払い | 換金のお申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。 |
| 課税関係 | 原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益に対して課税されます。 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。 ※税制が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。 |

当資料はITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえお客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

日本新興株グロースファンド

追加型投信／国内／株式

当ファンドに係る手数料等について

○申込み時に直接ご負担頂く費用

◆申込手数料: 取得申込日の基準価額に、3.15% (税抜3.00%) を上限として販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にてご確認ください。

○換金時に直接ご負担いただく費用

◆換金(解約)手数料: 当ファンドには換金(解約)手数料はありません。
◆信託財産留保額: 1万口につき基準価額に0.25%の率を乗じて得た額とします。

○ファンドの保有時に間接的にご負担いただく費用

◆信託報酬: ファンドの純資産総額に年1.365% (税抜年1.3%) の率を乗じて得た額とします。
◆その他の手数料等
①その他費用: 借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、有価証券売買時の売買委託手数料等
※上記の手数料等については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。
②以下の諸費用は、ファンドの純資産総額に年0.1%の率を上限として乗じて得た額とします。
法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産に係る監査人、法律顧問、税務顧問に対する報酬等
※当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドにかかる費用・税金について」をご覧ください。

委託会社その他の関係法人

委託会社 : ITCインベストメント・パートナーズ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号
(社)投資信託協会会員／(社)日本証券投資顧問業協会会員
信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の作成等を行います。

受託会社 : 野村信託銀行株式会社
信託財産の保管管理等を行います。

販売会社 : 当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書(目論見書)の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払い事務等を行います。

| 販売会社 | 登録番号 | 日本証券業協会 | (社)日本証券投資顧問業協会 | (社)金融先物取引業協会 |
|--------------------------------|---------------------------|---------|----------------|--------------|
| 藍澤證券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号 | ○ | ○ | - |
| 伊藤忠キャピタル証券株式会社*1 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第25号 | ○ | ○ | - |
| エイチ・エス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 | ○ | - | ○ |
| かざか証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号 | ○ | - | - |
| 日興コーディアル証券株式会社 (投信スーパーセンター) | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ |
| ぼんせい山丸証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号 | ○ | - | ○ |
| ひまわり証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第150号 | ○ | - | ○ |
| マネックス証券株式会社*2 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | - | ○ |
| 丸八証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号 | ○ | - | - |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | - | ○ |

*1伊藤忠キャピタル証券株式会社は、法人のお客様のみの取扱いとなります。

*2マネックス証券株式会社は、販売業務を行っておりませんのでご注意ください。

◆ ◆ 照会先 ◆ ◆
ITCインベストメント・パートナーズ株式会社
(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号、(社)投資信託協会会員／(社)日本証券投資顧問業協会会員)
販売会社照会ダイヤル: Tel 0120-580446 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
ホームページ[<http://itc-ip.com>]

当資料はITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえお客様ご自身で判断くださいますようお願い申し上げます。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。